項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数/行 ※1	文字フォント	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ（ポイント） ※2	指定都市実装区分	一般市区町村実装区分	適合基準日
12	就学援助費支給通知書（個人単位）、就学援助費支給通知書（個人単位）（平仮名表記）、就学援助費支給通知書（世帯単位）、就学援助費支給通知書（世帯単位）（平仮名表記）	支給費目	マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする	1	無	全角	7/2	IPAmj明朝	－	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
13		支給対象期間	支給対象となる期間を記載 期間を記載できない場合に対応するため「―」を入力可能とする	1	無	全角/半角	17	IPAmj明朝	和暦	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
14		支給金額（費目・期間別）	支給金額を費目・期間別に記載	1	無	半角	10	IPAmj明朝	－	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
15		支給合計金額	支給合計金額を記載	1	無	半角	17	IPAmj明朝	－	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
16		支給合計内訳	保護者支給額を記載	1	無	半角	17	IPAmj明朝	－	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
			その他学校等支給額を記載 ※保護者支給額以外の費用	1	無	半角	17	IPAmj明朝	－	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
17		支給年月日	支給年月日を記載	1	無	日付型	13	IPAmj明朝	和暦	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
18		受取人（保護者）	受取人の保護者氏名を記載	1	無	全角	13	IPAmj明朝	－	左	○	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
19		支給方法	支給方法を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
20		口座情報	金融機関名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義人を記載 自治体ごとに印字項目単位でのマスキングを選択可能とする 自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする ※学校支払のみや充当等により保護者支払額が無い場合、現金払い場合は印字項目のNo.27～31までの口座情報は表示しない	3	無	全角/半角	30/3	IPAmj明朝	－	左	○	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
21		備考	自治体ごとに任意の文言を設定する	1	有	全角	50/5	IPAmj明朝	－	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
22		連絡先	機関名・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスを記載 マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする なお、非表示とした印字項目は項目名ごと非表示とする 指定都市の実装においては、個人単位で出力する場合、任意の文言または児童生徒の学校情報を選択可能	5	無	全角/半角	20/5	IPAmj明朝	－	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
23		小計	世帯出力を想定して児童生徒ごとの支給額を総じた金額とする。	1	無	半角	10	IPAmj明朝	－	左	－	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

※1：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。
※2：プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近いフォントサイズであれば可とする。

2．構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上） ※3	最低余白（下） ※3	最低余白（左） ※3	最低余白（右） ※3	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	処分庁名（通知者名）	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学援助費支給通知書（個人単位）、就学援助費支給通知書（個人単位）（平仮名表記）、就学援助費支給通知書（世帯単位）、就学援助費支給通知書（世帯単位）（平仮名表記）	A4	縦	11	5	13	5	5	－	有	有	有	有	無	就学世帯（学校別）／個人（児童生徒）	規定しない	無	－

※3：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。